竹の子会の基本目標
1. 人間形成への修練
1. 地域社会への奉仕
1. 会員相互の親睦

竹の子
http://www.takenokokai.com

竹の子会会報
No.570
竹の子会総務委員会
平成27年７月９日

会長あいさつ

第59期
会長
國枝　幹生

第59期会長を務めました國枝幹生でございます。第59期が無事終了するにあたり、一年間を通じてご尽力いただきました現役会員並び、多大なご支援を賜りました特別会員の皆様に心より感謝申し上げます。

去年の５月より第59期の会長の大役を引き受ける決意を表明してから６月30日までの道のりはあっという間の出来事のように思えます。今は第58期に引き続き、２期連続での会長職を無事終了できた安堵感で一杯です。７月の会員オリエンテーションに始まり、総会懇親会、万灯流し、郡上八幡での交通遺児夏のつどい、大垣医師会会長を招いての講師例会、十万石ふるさとまつり、スポーツ親睦会、クリスマス会、新年互礼会、ボイストレーニングを兼ねた講師例会、奉仕活動、新入会員例会、竹原 慎二氏を招いてのオープン例会、そして卒業生を送る会。また海外児童文化交流派遣事業を始めとする関連事業。全てが会員皆様のご尽力のもと、笑顔溢れる事業となり心より感謝申し上げます。

しかし、私自身、会長職を引き受ける心境は複雑な思いがありました。ただ引き受けた理由は、第59期スローガン『汗と涙を仲間のために　心繋がる竹の子会』にもあるように“仲間のために”の一心でした。愛すべき竹の子会、そしてそこに集う仲間と共に、一歩でも前に前進させることが出来るのであればとの思いからでした。私自身２期目とはいえ、不安と恐怖での船出であり、この期末を迎えることなど、遥か先の未来とまで思えるくらいでした。まさに出口のないトンネルに入った心境でした。しかし、私を救ってくれたのは、まさに竹の子会の仲間たちでした。常任、役員、会員、先輩、そして家族。竹の子会に携わる全ての皆様に支えられていたことを心より感じた一年でした。一歩ずつ前へ歩もう。その中で仲間と共に歩んだこの一年は辛くても楽しくても仲間と一緒にいる時間が心地良く思え、ともに歩く喜びを感じ得るようになり、出口のないトンネルでも、この仲間達とならば共に困難なことでも進んでいけるとさえ感じ得るほどでした。しかし、当然終わりは迎えるもので、今期をもって当会を卒業することを自ら願い出た後はこれから当会を盛り上げていく仲間たちに対し、申し訳ない気持ちで一杯になりました。けれども暖かく卒業させてもらい、仲間の素晴らしさを改めて感じました。まさにそれこそが当会が持つ一番素晴らしいものだと思います。私が感じ得たこの思いを多くの会員が感じ、親睦の竹の子会の想いを次の時代へと受け継いで頂きたいと思います。今期スローガン『汗と涙を仲間のために　心繋がる竹の子会』。我ら竹の子には揺るぎない絆がありそれは永遠の友情となり、豊かな人生を与えてくれる宝となることでしょう。これからの竹の子会を担う諸君には人生の宝を必ず探し出してください。私からの願いです。

最後に、来期大役を担う第60期会長永井 清睦君に対し、心より敬意を表すると共に、微力ながら直前期の経験者として全力で応援することをお誓いし、第59期が皆様のご支援、ご協力のもと終えることが出来ましたことを感謝申し上げ、最後の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

常任あいさつ

第59期
副会長
津汲　智麿

第59期副会長を務めさせて頂きました津汲 智麿です。最後の事業である卒業生を送る会を終え、スローガン「汗と涙を仲間のために　心繋がる竹の子会」の下、１年間の事業をなんとか終えることができました。これもひとえに現役会員の皆様、OB会員の皆様の多大なるお力添えのおかげだと思います。本当にありがとうございました。

副会長の大きな役割は、事業の為に様々な案を懸命に考え、練り上げる思いを伝えること、会を良い方向に変えていこうとする委員会の思いを通すことであると考え、１年間やってきました。経験豊富で、様々な視点から物事を見られる林長期委員長、熱い思いと実行力で引っ張る永井親睦委員長には本当に助けて頂きました。力不足な点も多々あったかと思いますが、本当にありがとうございます。また、無茶な要望をしたこともあったかもしれませんが、広い心で受け入れて頂いた國枝会長、そして常任の皆様にも感謝御礼を申し上げます。

最後になりますが、１年間の貴重な経験を糧として、残りの竹の子会での時間が実りあるものになるよう、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

第59期
副会長
日比野　直哉

会員の皆様、またOB会員の皆様こんにちは！そして59期という激動の１年でしたが、支えて頂きまして、本当に有り難うございます。

役を受ける事で、お世話になっている皆様や会への恩返しができる！また自分の勉強になる！という想いで引き受けた副会長でしたが、担当委員会の奉仕では渡邊委員長、国際交流委員会では澤田委員長、この両委員長のバイタリティなくして59期を終える事は出来ませんでした。

会員数の少ない中、立場に執着していては駄目だと思い、自分に出来る事をやりました。自分は優秀ではありませんが、皆様に助けられながら、本当に色々な事を学ばせて頂いたと感じています。

そして59期を共に過ごした常任のメンバーに感謝します。夜遅くまで資料のチェックやアドバイス等、自分が苦手な部分も時間を割いて教えてくれました。

またOBの先輩方には、温かく見守って頂き、時にはアドバイスも頂戴し、本当に感謝しています。

１年間、有り難うございました。

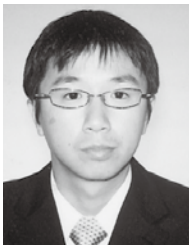
第59期
副会長
沼波　周蔵

皆様、こんにちは。59期副会長を務めさせて頂きました、沼波です。

この一年、多数のOB会員の皆様はじめ、現役会員の皆様のご協力のお蔭で無事、終えることができました事を、まずもって感謝いたします。

この一年を振り返り、副会長の立場を考えますと、中間管理職の立場になり、自分自身の行動や、言動、一つ一つが大きな意味を持ち、竹の子会の事業や、例会に深く影響していく事が分かり、自分自身にとって日々、勉強の毎日でしたが、いろんな問題が出てきても助けて頂ける、仲間のおかげで、今期のスローガン“汗と涙を仲間のために　心繋がる竹の子会”が実行できたと思います。

今期学んだ事を生かし、来期素晴らしい記念期になるように、頑張っていきたいと思います。皆様、一年間、誠に、ありがとうございました。



第59期
事務局長
清水　恒和

みなさまこんにちは。50期入会の清水 恒和です。

59期に事務局長という大役を務めさせて頂き、何とか59期が終える事が出来たのでは無いかと思います。

決まった時は本当に一年長いと思っていましたが、終わってみるとあっという間に過ぎて行きました。事務局長を最初は、自分に出来るかどうか不安で心配でもありましたが、何とかたどり着く事が出来たと思います。

この一年間色々な経験をさせて頂いて、楽しい事や厳しい事もあったと思いますが、本当にやって良かったと思います。これも、会長・常任・会員の皆様のご協力により出来た事だと思います。

つたない事務局長ではありましたが、59期が終えられた事に感謝いたします。本当にありがとうございました。

卒業生あいさつ

第59期
卒業生
名波　一敏

とうとう竹の子会を卒業する時がやってきました。長かった様な、短かった様な、まだ実感が湧きませんが。

私がこの会に在籍した17年間を振り返るにはこの紙面ではあまりにも狭すぎますし、時間もかかりますので、一つ一つの想い出を振り返るのは断念します。

私が在籍期間中に参加した事業数は100以上有ると思います。その全てに「喜・怒・哀・楽」いずれかの感情が備わって想い出となっています。必ずしも楽しい事ばかりではなく、辛い事の方が多かったかも知れません。現役会員の葬儀も三度経験しました。しかし、そんな色々な想い出、感情が混ざり合った上で、今はっきりと断言できる事が有ります。「竹の子会に入会して良かった。」

入会できた事で多くの先輩、友人を授かった事を誇りに思いますし、感謝しております。当然この会に入会すれば皆そう成れるという訳ではありません。それぞれの立場ごとに会の運営、事業の成功という課題、問題点を共有し共に悩んだ末、成功に導き、時には共に食事をし、共に遊ぶという活動の繰り返しを通して互いの人間性を理解、尊重し友人となれる。そんな活動現場に参加する事でのみ得られる竹の子会員の特権だと確信しております。

こんな素敵な会がこれからも存続し続けることをお願い申し上げ、現役会員としての最後の挨拶とさせて頂きます。

私が出会った全ての「大垣竹の子会」の皆様にお礼申し上げます。17年間大変お世話になりまして、ありがとうございました。

第59期
卒業生
松永　大介

歴史と伝統ある大垣竹の子会に、第48期に入会させていただき、12年間本当に多くの方に支えられ、無事卒業を迎えることができました。本当にありがとうございました。

たくさんの思い出がありますが、強く印象に残ったことは、やはり大垣市青年のつどい協議会の会長を務めさせて頂いたことです。責任の重大さを痛感しながら、会長という大役を最後まで全うできたのも、仲間がいてくれたおかげでした。大役をお願いした時も、私がわがままを言った時も一つ返事で受けてくださり、事業当日は、また竹の子パワーで、すべての事業を盛り上げていただきました。本当にありがとうございました。

竹の子会に入会させていただいて、いろいろなことを学ばせて頂きましたが、中でもやはり「仲間を思い、仲間のために」が一番です。これを忘れず、大切にしていきたいです。

最後になりましたが、12年間本当にありがとうございました。竹の子会は卒業いたしますが、仲間としては永遠に続きますので、これからもよろしくお願いいたします。

第59期
卒業生
須田山　智成

53期入会の須田山智成です。入会して７年、なかなか会に参加できませんでしたが、55期で国際交流委員長、58期で奉仕委員長、59期で渉外委員長と、３回も委員長を経験させていただくことができました。

そして、会員のみなさまにご迷惑ばかりをかけた委員長でしたが、会長をはじめ、副会長、副委員長、会員の皆さんに助けていただいたおかげで、何とか無事に務めることができました。

また、こんなにご迷惑をおかけした会員だったにもかかわらず、卒業生を送る会にご招待いただき、多くの皆様にお祝いしていただけましたことに、ただただ感謝の気持ちしかありません。

大垣竹の子会での活動を通じて、仲間が増えたことが何よりも財産になりましたし、「みなさんのおかげ」で今の自分があることを実感させていただきました。

最後になりますが、大垣竹の子会と皆様のご活躍を祈念いたしまして、卒業のあいさつとさせていただきます。７年間ありがとうございました。

第59期
卒業生
國枝　幹生

第53期入会の國枝 幹生でございます。７年間の竹の子会の思い出を胸に、第59期をもって卒業となり、今まで私を支えて頂いた全ての皆様に感謝申し上げます。

あっという間の７年間でしたが、素晴らしい仲間に出会えたことが、青年期においてのかけがえのない宝物となりました。

思い起こせば、大野町より知り合いもなく入会した私が、各要職を経験させて頂き、また会長職を２期つづけて経験できたことは自身の良き経験となりました。

楽しい時も、辛い時も仲間の顔を見るだけで前向きになり、それは自身の成長にも繋がった竹の子会でした。今期をもって卒業することになりましたが、この経験を活かし、次なる目標、夢へと果敢に歩んでいこうと思います。竹の子会の経験が國枝を成長させたと胸を張っていきます。また、新たな目標に向かっている私をどこかでお見せできるように頑張ってまいります。

この後、竹の子会OBとなりますが、愛する竹の子会を微力ながらお支えすることをお誓いして、素晴らしい仲間達と共に休むことなく歩んだ７年間に感謝申し上げ、卒業の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

卒業生を送る会

日時：平成27年６月20日(土)
場所：大垣フォーラムホテル

親睦委員会
大藏　信一郎

第58期入会、親睦委員の大藏信一郎です。

６月20日（土）、大垣フォーラムホテルのIBUKIの間にて、第59期大垣竹の子会『卒業生を送る会』が行われました。今回は卒業生４名、特別会員30名、現役会員26名の計60名が参加するとても盛大な会となりました。これも卒業生の厚い人望によるものだと思います。

本年卒業される４名は、長年に渡り竹の子会への貢献をされてきた方々で、中には活動期間が10年を超える方もいらっしゃいました。そんな経験豊富な卒業生を送り出す会を企画する事はとても責任の重いことであり、重圧もありましたが、永井委員長を中心として「卒業生にとって最高の思い出となる会にするんだ！」と親睦委員会の全員が一丸となって企画・運営に取り組みました。当日が近づいてきてからは、ほぼ毎週、委員会のミーティングが開催され、遅くまで委員会のメンバー同士で熱い意見を交わしました。

私は卒業生の活動の軌跡を映像にするDVD制作に携わらせていただきました。卒業生に合った音楽の選定を行い、音楽に合わせて卒業生の竹の子会での活動の写真をスライドさせていく映像です。使用する写真を選んでいると、入会して経験の浅い私の知らなかった卒業生達が頑張っている姿を見て、改めて卒業生達が素晴らしい実績を積まれていたのだということと、いなくなってしまう寂しさを実感しました。そして当日、スクリーンに映し出される映像をじっと見つめる卒業生のお姿を見て、ご自身の活動を振り返っておられるのだと思うと涙がこぼれそうになりました。

不慣れな事も多く、集合写真や花道退場等々、新たに取り入れたコンテンツも多くあったことから上手くいかなかった事も多々ありましたが、『卒業生を送る会』の企画・運営に携わらせていただき、竹の子会の素晴らしさ、そして仲間と力を合わせて一つのことを成し遂げる事の素晴らしさを学ぶことができました。本当にありがとうございました。

最後になりましたが、卒業生の名波さん、松永さん、國枝さん、須田山さん、ご卒業おめでとうございます。そして、長年に渡り竹の子会にご尽力いただき誠にありがとうございました。卒業生の皆様が残していただいた想いを胸に、我々現役会員全員で竹の子会を盛り上げて参ります。

卒業生の皆様におかれましては、これからは特別会員として我々の活動を見守っていただき、時にはご指導、ご鞭撻をいただけると大変ありがたいです。

7 8 月の予定

会員オリエンテーション
日　時　平成27年７月４日（土）
場　所　大垣市青年の家、大門

市長杯
日　時　平成27年７月10日（金）
場　所　コロナキャットボウル

総会懇親会
日　時　平成27年７月22日（水）
場　所　大垣フォーラムホテル

昌原JC受入事業
日　時　平成27年７月22日（水）～
　　７月23日（木）
場　所　大垣フォーラムホテル　ほか

例会（水門川万灯流し）
日　時　平成27年８月１日（土）
場　所　水門川一帯

交通遺児　夏のつどい
日　時　平成27年８月23日（日）
場　所　伊賀市